

平成25年行政事業レビューシート (総務省)							
事業名	公民連携によるまちなか再生の研究に要する経費		担当部局庁	自治行政局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	地域振興室	室長 出口 和宏		
会計区分	一般会計		政策・施策名	II-2 地域振興(地域力創造)			
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少や高齢化が進展する中、多くの地方都市は疲弊している。「まちなか」からは商業集積をはじめとした都市機能が失われつつあり、地域住民の暮らしを支える機能が低下している。このような状況にある「まちなか」は、その担い手であるコミュニティ自身が再生の主体となることによって、はじめて持続可能な発展が可能となる。また、行政には、コミュニティの力を引き出し、その成果を効率的に波及させるコーディネーターとしての役割が期待される。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	コミュニティが主体となり、コミュニティと行政の連携によって、衰退している地方の中小都市の「まちなか」を活性化する方策を研究することを通じて、「まちなか」が有する暮らしに不可欠な都市機能を維持することを目的に、本調査研究事業を行う。 調査研究に当たっては、全国で数カ所の実証事業を行うとともに、各地で「まちなか」の活性化を実践し、豊富な経験と高い識見を有する有識者による委員会を設け、必要に応じ実証事業を実施する地域への委員の派遣や実証事業に対する意見・提案、意見交換会等を行い実証事業を支援する。また、実証事業や研究会等を通して得られた知見やノウハウを全国に普及することを目指し、報告書をまとめる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	35
	執行額	-	-	-	-	-	35
執行率(%)	-		-		-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	調査研究費であり、定量的な成果指標を示すのは困難		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査研究費であり、定量的な活動指標を示すのは困難		活動実績(当初見込み)	回	-	-	-
					()	()	()
単位当たりコスト	算出困難なため、未記載		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	地方振興対策調査費	0	35				
	計	0	35				

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	「まちなか」は、住民生活に必要な一定の都市機能を提供し、地域全体を支える役割を担っているが、衰退が著しい。公民が連携してコミュニティを中心とした持続可能な「まちなか」の活性化を推進するモデルを創造し、各地域に普及させる必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	外部委託業者の選定については、見積価格の精査等を行うとともに、総合評価方式を採用し、提案内容が調査目的に適合するものであるか確認することとしている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
事業性の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	研究会の実施、実証事業の進捗・執行管理、報告書とりまとめを効率的に行うためにはノウハウのある民間会社の活用が適当と考えられる。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名		
点検結果						
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					